

山行記録

恵那市・岩村城址

年月日	2022年11月14日(月)
天気	晴れ時々曇り
集合場所・時間	バスハイク、JR 芦屋南 7:30
参加人数	17名 (V3名)
歩行時間・距離	岩村城址往復 1:42 (ガイド説明時間含む) 2.1km
費用	10,500円

コースタイム

バス芦屋 7:30⇒2回の休憩⇒岩村城址駐車場 11:55、昼食 11:55/12:33

駐車場 12:33～ガイドの説明を聞きながら本丸跡へ～本丸跡 13:36/13:49～駐車場 14:15
バスで岩村城下町へ。城下町散策。

城下町駐車場 15:20⇒2回の休憩⇒JR 芦屋 19:35

感想

日本の三大山城の1つである恵那市の岩村城址へのバスハイク。ちなみに後の2つは奈良・大和高取城、岡山・備中松山城である。また日本城郭協会により日本百名城にも選定されている。

途中渋滞もあり約30分遅れの12時前に山麓駐車場に到着、各自城下町の見えるベンチや紅葉の木の下でランチタイム。ガイドさんと合流、声のよく通る方で本丸への山道の要所所で岩村城やその地域のゆかりの人物、歴史、また城郭の構造面など細部にわたっての説明を受け、なかなか興味深いものであった。お陰様でゆっくりと赤や黄色に染まった木々、山城の苔むした石垣などを味わう事が出来た。ゆっくりペースで1時間ほどかけて本丸跡に到着、見晴らしもよく、囲む山々、城下町などの展望を楽しみ同じ道を下山した。バスで岩村城下町の方へ移動、各自思い思いに古い街並みを散策し買い物も楽しみました。何故かカステラが名物みたいで何人かは買い求めていました。また地酒もあり「女城主」ブランドです。信長の伯母にあたる「おつや」は主人の岩村城主が病死、養子に迎えた信長の五男が幼少のため実質的な城主をつとめた。その後甲斐の武田に攻められ武田家家臣の妻となり、武田家滅亡後は織田に攻められ信長に許されず磔刑となる悲劇の「女城主」です。

往復約9時間というバスの長旅でしたが、歴史に触れ、紅葉、古い街並みなどを楽しんだ良き秋の長が～い1日でした。